

「分権型社会を支える地域経済財政システム研究会資料」

岩沼市の復興事業と課題

集落集約とコミュニティ再生 のまちづくりは **日本の復興モデル**



宮城県岩沼市長 井口 経明

岩沼市の概要



二木の松(武隈の松)



岩沼市の位置

仙台市

岩沼市
人口 約44,000人
面積 約60.7km²



竹駒神社



仙台空港

移転促進区域と集団移転先



玉浦西地区(三軒茶屋西地区)

(相野釜地区)

(藤曽根地区)

(二野倉地区)

(長谷釜地区)

(蒲崎地区)

(新浜地区)

地区名	促進区域の面積 (ha)	促進区域内住居数 (戸)	集団移転先住居数 (世帯)
相野釜	38	116	73
藤曽根	8	19	14
二野倉	22	91	64
長谷釜	19	74	58
蒲崎	33	128	84
新浜	14	43	35
計	134	471	328

岩沼市の地域性と被災状況(津波浸水区域等)



千貫村

岩沼町

玉浦村

被災状況

- 津波による浸水面積：市域の約48%
- 死者：181人（直接死）
- 住居被害：全壊 736戸、大規模半壊 509戸、半壊 1097戸、一部損壊 3086戸、計5428戸（H24/11/30時点）
- 瓦礫等の量：約50万t

玉浦地区の再生

昭和30年 4月1日千貫村、玉浦村と合併し新製の岩沼町となる
昭和46年11月1日市制施行し岩沼市となる

集団移転先（玉浦西地区／三軒茶屋西地区）の概要

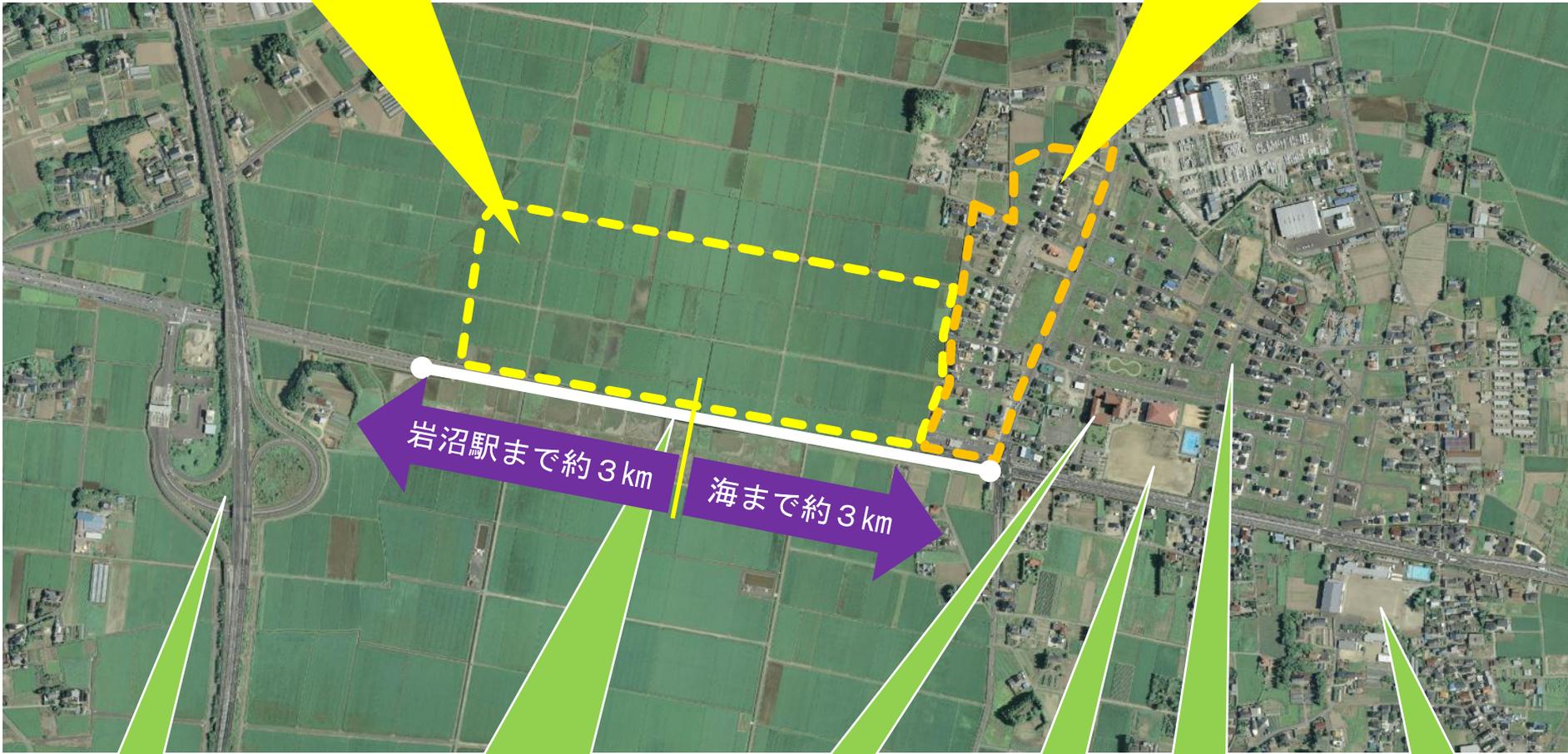
玉浦西地区

- ・住宅敷地 173区画
- ・公営住宅 126戸
- ※開発行為による造成(19.96ha)

事業期間 H23～H25
総事業費 約152億円
※災害公営住宅を除く

三軒茶屋西地区

- ・住宅敷地 29区画
- ※既存区画整理事業保留地の活用(0.78ha)



東部道路
岩沼IC

県道岩沼海浜緑地線の整備
延長 約900m 幅員 20m

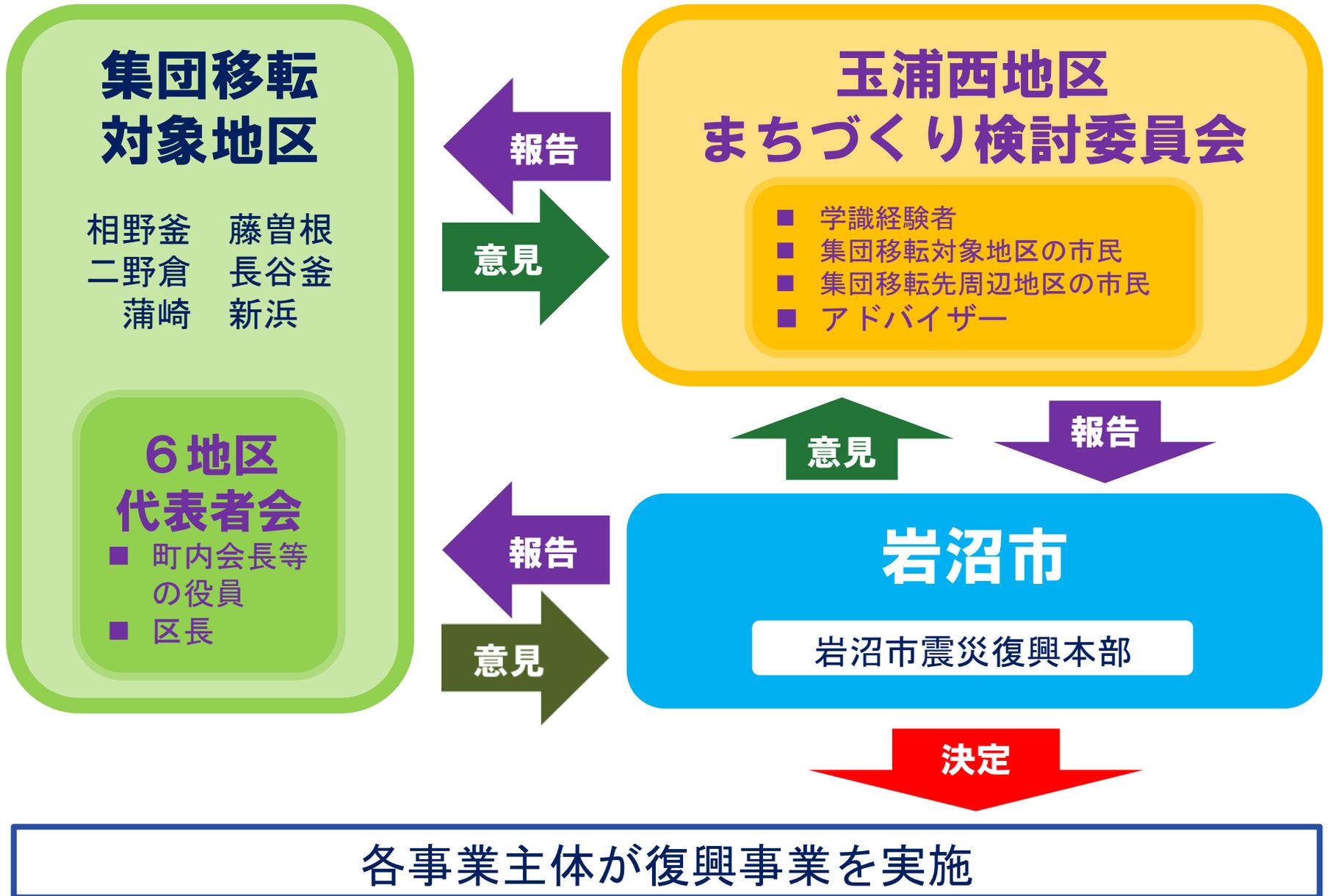
玉浦公民館

玉浦中学校

三軒茶屋西
区画整理事業

玉浦小学校

玉浦西地区のまちづくり推進体制



玉浦西地区のまちづくりで目指すもの

玉浦地区の再生の起爆剤



1. コミュニティーの維持と形成
2. 世代を超えた持続可能なまちの形成

- 
1. オーダーメイドのまちづくり
 2. エココンパクトシティの具現化



個人住宅の再建が一人ひとりの復興のスタート
平成25年度末までに玉浦西地区での居住開始

震災復興計画の策定

H23. 4. 25 「岩沼市震災復興本部」を設置

同日「岩沼市震災復興基本方針」を決定

H23. 5. 7 「岩沼市震災復興会議」を設置

H23. 8. 7 「岩沼市震災復興計画グランドデザイン」を策定

H23. 9. 27 「岩沼市震災復興計画マスタープラン」を策定

復興の理念

愛と希望の復興

基本理念

- ①チーム岩沼、オール岩沼、オールジャパン
- ②歴史を大切にした安全・安心な市域づくり
- ③岩沼の個性、特性を活かした産業の再構築
- ④時代を先取りした先進的な復興モデル

復興のためのリーディングプロジェクト

- ①すみやかな仮設住宅の建設と暮らしの安定
- ②津波からの安全なまちづくり
- ③農地の回復と農業の再生
- ④自然共生・国際医療産業都市の整備
- ⑤自然エネルギーを活用した先端モデル都市
- ⑥津波よけ「千年希望の丘」の創造
- ⑦文化的景観の保全と再生

玉浦西地区まちづくり検討委員会スケジュール

区 分		H24年度 上半期	H24年度 下半期	H25年度 上半期	H25年度 下半期
検討委員 会スケ ジュール	委員会発足 (H24年6月11日)	●			
	アドバイザーによる講話	●			
	まちづくりアンケート調査	●			
	まちづくりカードの作成と検討	●			
	①まちづくり方針の検討		●		
	②土地利用計画(案)の検討		●		
	③画地の配置方針(案)の検討			●	
	④公共・公益施設整備方針(案)の検討				●
地域意見 収集	⑤地区計画(案)の検討			●	
	⑥新たな地域づくりの検討				●
	最終報告書の検討				●
工事スケ ジュール	委員による検討項目ごとの地域意見収集	●—————●			
	アンケート調査	●			
	盛土設計	●—————●			
	道路・公園・調整池等設計			●—————●	
	盛土工事		●—————●		
	道路・公園等工事			●—————●	
	建物建築工事				●—————

減災を基本とした安全・安心なまちづくり 「千年希望の丘」

H24. 5. 26 / 「千年希望の丘の創造」に向けた植樹祭を実施
災害廃棄物の有効活用に関する試験的な取り組み
H25. 6. 9 / 「千年希望の丘(第1号)」が完成
植樹祭参加者4,500名、植樹本数30,000本
震災で生じた廃棄物の有効活用 / 発生量239,000m³



千年希望の丘イメージ図



H25. 6. 9 植樹祭の様子①

H25. 6. 9 植樹祭の様子②



実証実験地
H25. 5. 24の様子
(植樹1年後)



産業の復興と新産業の創出

「健康医療産業集積地の整備①」

【健康医療産業集積地推進事業】

- * 平成24年度 整備にかかる基本構想策定
並びに可能性調査業務を実施

【事業目的】

- 1) 被災した方々への雇用の提供
- 2) 未来に希望の持てる産業の創出
- 3) 環境とエネルギー自給の先進モデル地域の実現
- 4) “健幸”先進都市の実証

産業の復興と新産業の創出 「健康医療産業集積地の整備②」



健康医療産業集積地基本構想全体イメージ図

産業の復興と新産業の創出 「メガソーラー事業」

事業主体／いわぬま臨空メガソーラー(株)

面積／43.6ha(うち農地32.8ha)

発電量／28.3MW

発電開始目標／平成26年10月

期間／23年(設置および撤去期間含む)

寄与／事業収益の一部を活用した公共施設等への太陽光パネルや蓄電設備の設置



環境未来都市 岩沼①



内閣官房地域活性化統合事務局ホームページより転載

環境未来都市 岩沼②

環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心の新たな価値を創造する都市



内閣官房地域活性化統合事務局ホームページより転載

職員派遣の受入状況と課題

●平成23年度

長期派遣 2名(2団体) ※短期派遣 延べ4,251名

●平成24年度

長期派遣 19名(15団体) (必要人数32名 充足率59.4%)

●平成25年度

長期派遣 41名(33団体) (必要人数50名 充足率82.0%)

①継続的な職員派遣

【今後支援を希望する職員】

- ・下水道などの生活基盤復旧に従事する技術職員
- ・被災者健康支援訪問活動等を担当する保健師
- ・農業復旧や用地買収を担当する一般事務職員等

②長期派遣職員のメンタルヘルス対策の強化

③人件費等に対する支援措置の継続

市の財政状況①

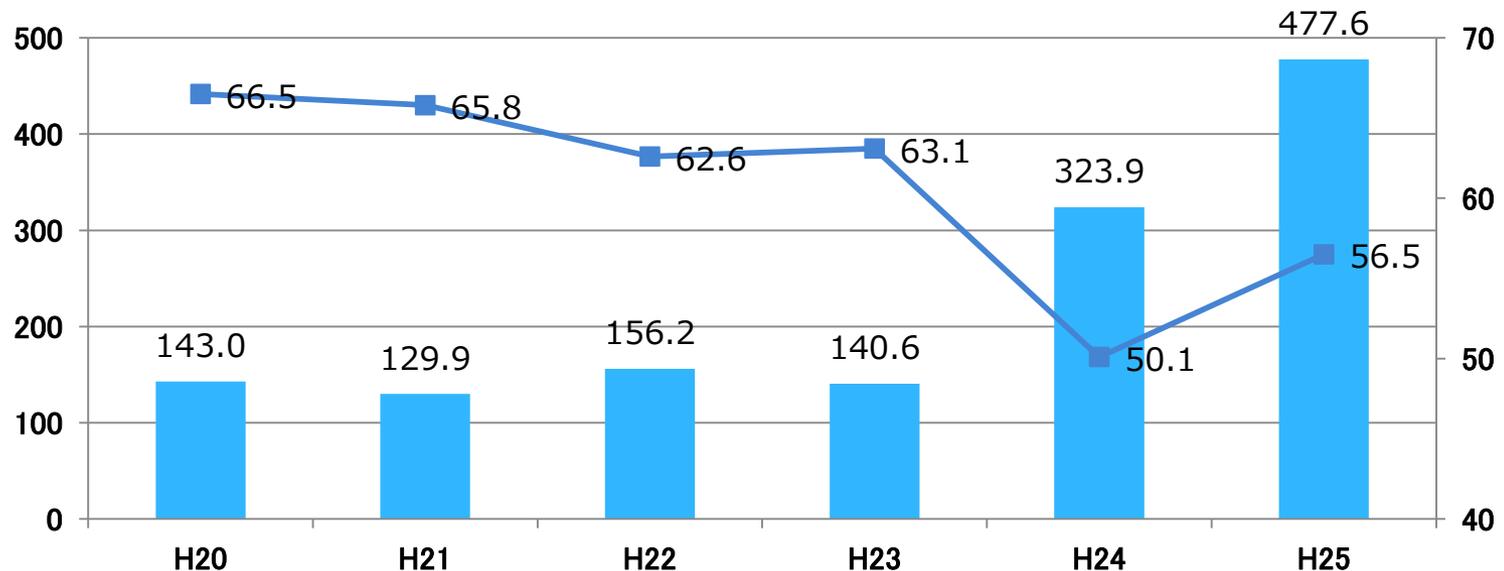
一般会計予算規模及び市税の推移(当初)

予算規模:億円

■ 一般会計予算規模

■ 市税

市税:億円



市の財政状況②

【決算の状況】

(単位:千円)

区分	H21	H22	H23	H24	増減(24-23)
歳入決算額(A)	13,924,883	16,094,378	31,258,307	75,199,826	43,941,519
歳出決算額(B)	13,337,641	15,114,418	28,395,737	70,306,834	41,911,097
翌年度繰越額(C)	74,832	141,894	330,393	3,901,897	3,571,504
実質収支(A-B-C)	512,409	838,066	2,532,178	991,095	▲1,541,082
実質収支比率	5.77	9.30	27.98	11.02	▲16.96
財政力指数	0.800	0.793	0.780	0.761	▲0.019
経常収支比率	89.11	87.56	100.06	94.41	▲5.65
実質赤字比率	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率	5.4	4.2	5.4	6.5	1.1
将来負担比率	—	—	—	—	—

市の財政状況③

【財政上の懸案事項】

- 1 復旧・復興に要する費用の地方負担分に対する財政支援措置のさらなる充実と継続的確保
- 2 復興交付金の交付対象とならない復興事業に対する確実な予算措置
- 3 震災関連事業に係る地方債発行に伴う公債費の増と財政指標への影響

市の財政状況④

【固定資産税の軽減措置】

償却資産は固定資産税収の約4割！！
9.6億円(市税の17%)の減収となれば
復興の歩みも減速する

平成24年度決算における
市税は57億円
うち固定資産税は
26億円(市税の45.6%)

償却資産／9.6億円

土地／7.2億円

軽減措置の影響は県内被災地で最大！

家屋／8.9億円

宮城県の経済概況

【宮城県「みやぎ経済月報 2013年8月」】

(6月を中心とした宮城県経済の動向)

東日本大震災による多大な影響が各方面に生じているなかで、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している。

【財務省東北財務局「宮城県の経済情勢(平成25年4月-6月期)」】

- 県内経済は、回復の動きが続いている。なお、足下では、復興需要や輸出環境の改善等から明るい動きが伺えるなど、回復の動きが続いている。

【七十七銀行「調査月報2013年8月号」】

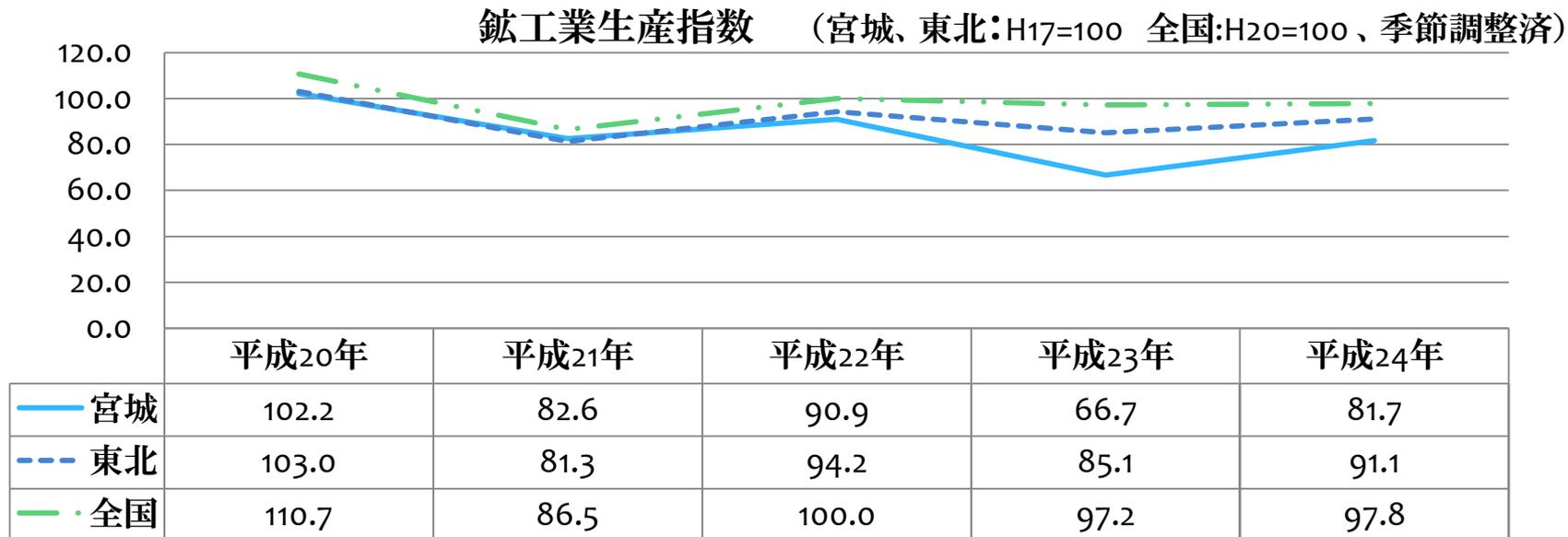
- 最近の県内景況をみると、回復のテンポは鈍化してきているが、震災復旧需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、緩やかな回復の動きが続いている。

宮城県の経済概況（項目別）

項目	平成25年6月を中心とした宮城県経済の動向
生産	震災の影響により厳しい状況にあるなかで、横ばい傾向の動きとなっている。
住宅投資	増加している。
公共投資	持ち直しの動きとなっている。
個人消費	弱い動きとなっている。
雇用	求人倍率は高水準となっており、改善している。
企業倒産	小康状態が続いている。

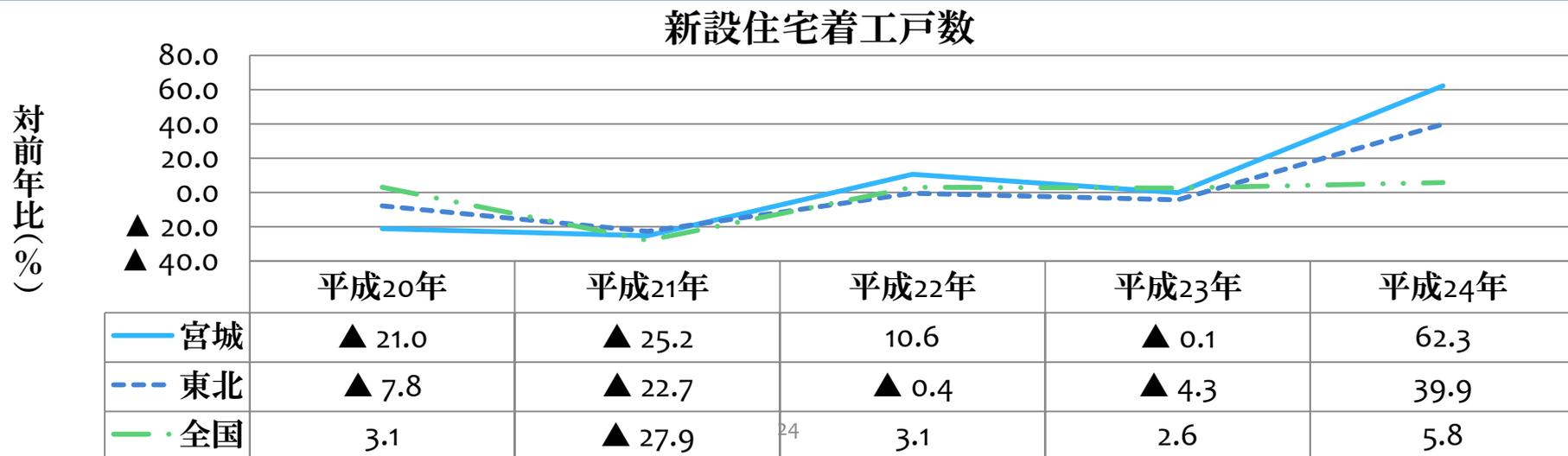
（出典：宮城県統計課「みやぎ経済月報（2013年8月）」）

○ 宮城県の鉱工業生産指数は、平成23年から24年にかけて回復傾向にある。



(出典) 宮城県統計課「宮城県鉱工業生産指数」、東北経済産業局「東北地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」

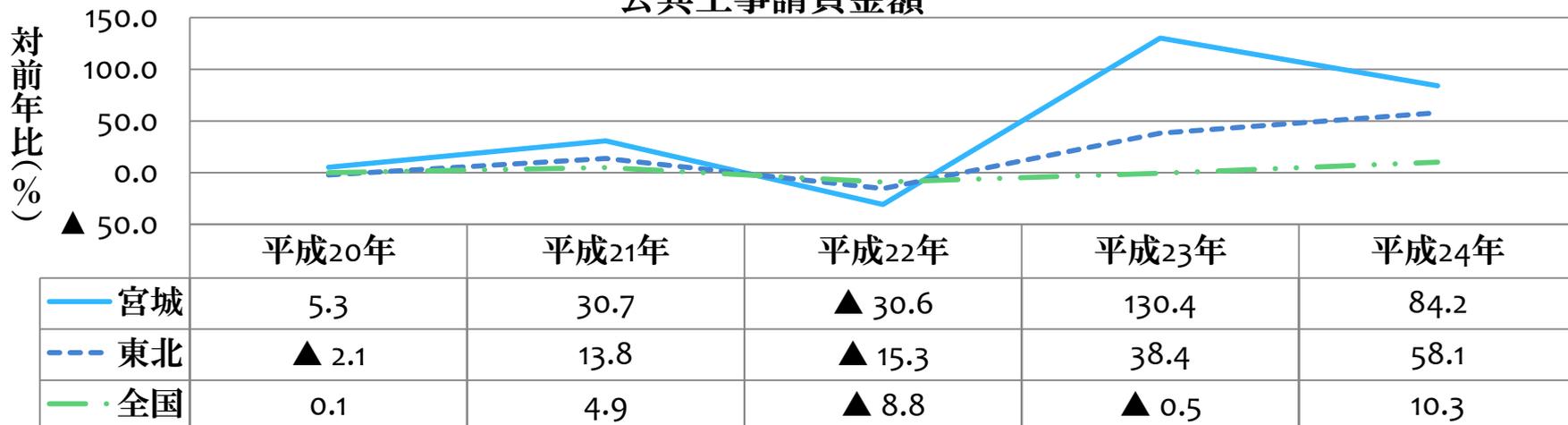
○ 宮城県の新設住宅着工戸数は、平成24年に大幅に増加している。



(出典) 国土交通省「建築着工統計調査報告」

○ 宮城県の公共工事請負金額は、平成23年から大幅に増加している。

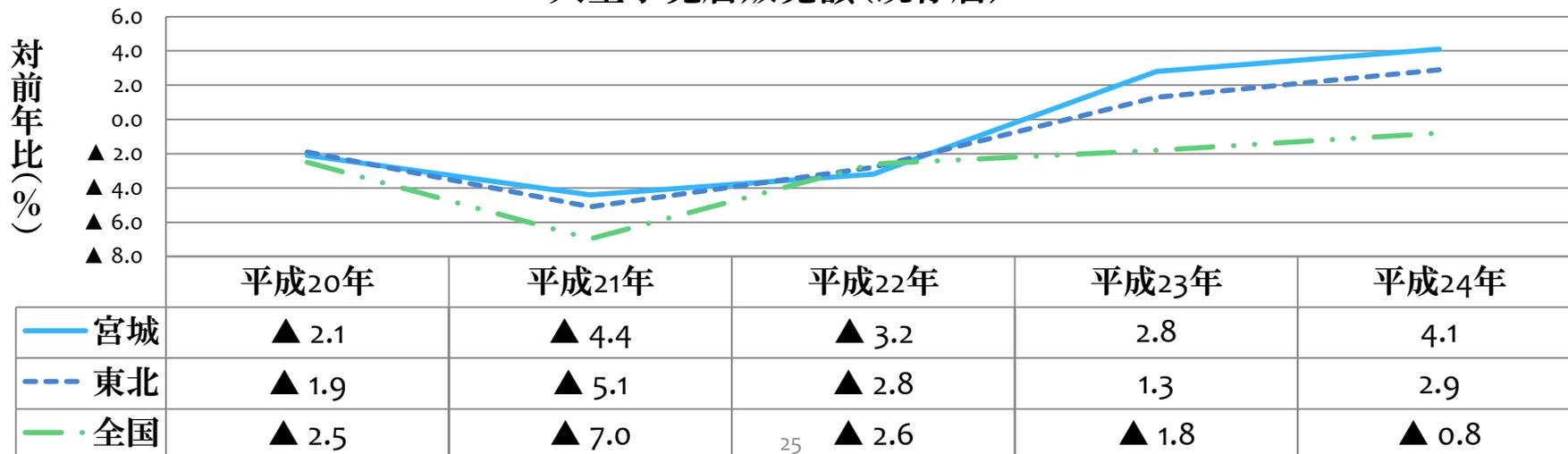
公共工事請負金額



(出典)東日本建設業保証株式会社

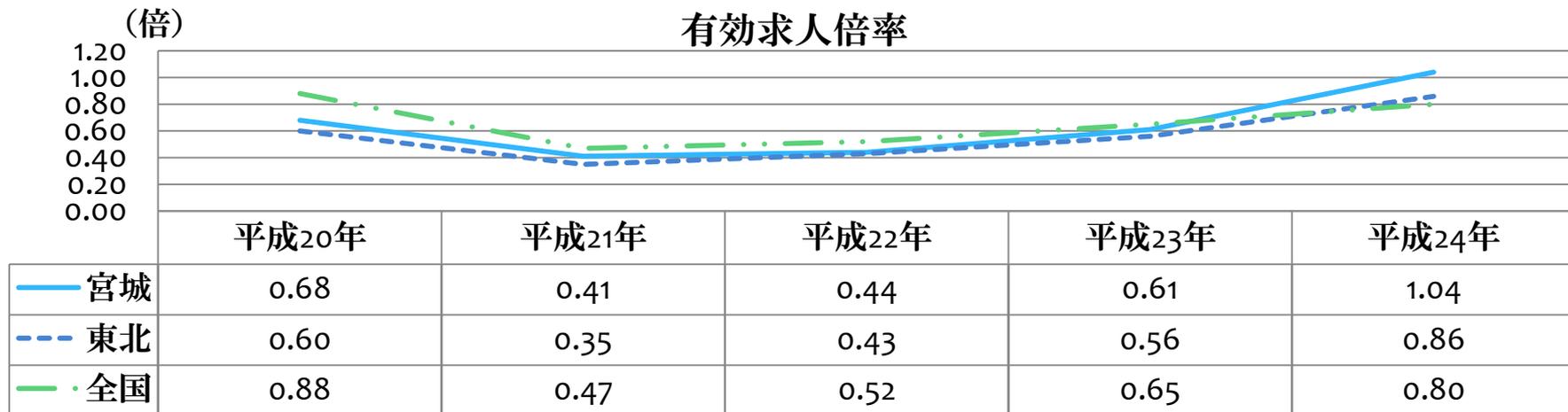
○ 宮城県の大型小売店販売額(既存店)は、緩やかな上昇傾向にある。

大型小売店販売額(既存店)



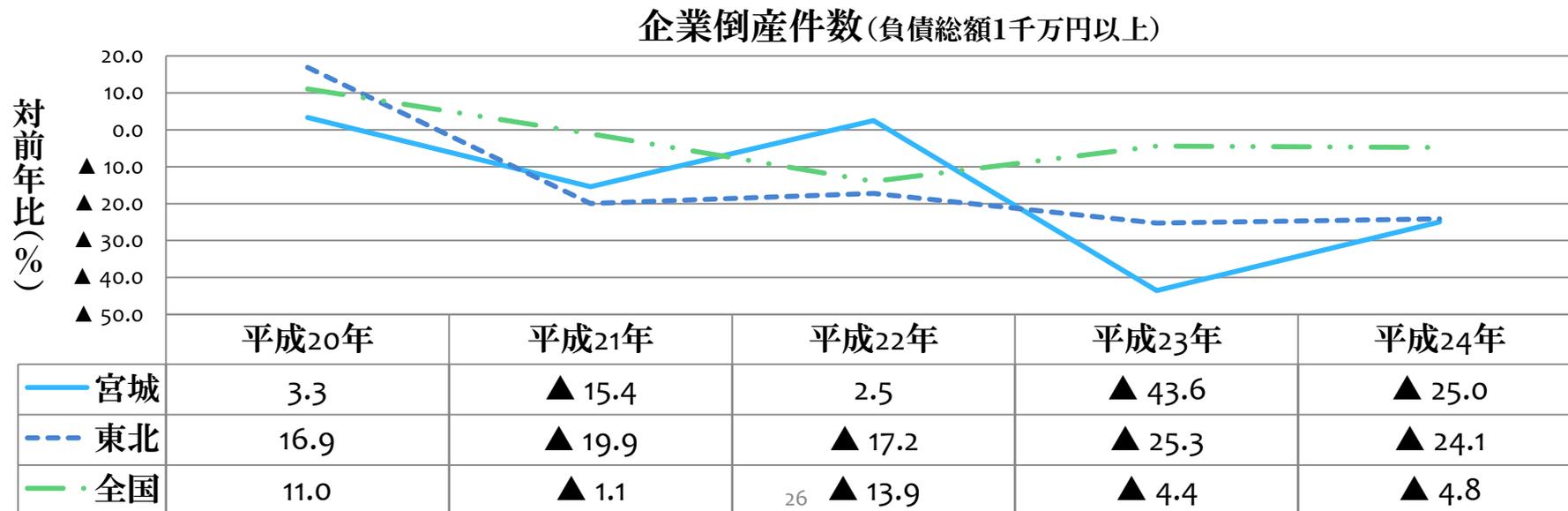
(出典)経済産業省「商業販売統計月報」、東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

○ 平成24年における宮城県の有効求人倍率は、全国・東北に比べて高い水準にある。



(出典) 宮城労働局職業安定課「職業安定業務主要指標」

○ 宮城県の企業倒産件数は、減少傾向にあるが平成25年は増加の見通し。



(出典) 東京商工リサーチ「倒産月報」

玉浦西地区のイメージ図

- 震災の意識上での風化
- 災害に強い都市連携の確立

想いは未来へ

ふるさとの復興を願って
ご清聴ありがとうございました